

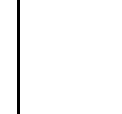


SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
人権・労働	1	<input type="checkbox"/> 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	あらゆる雇用条件において差別しない体制を構築し、従業員教育の実施、相談窓口の設置している。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7
	2	<input type="checkbox"/> 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントに関しては就業規則に明記し教育を実施するとともに、相談窓口も設置している。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8										16.1	
	3	<input type="checkbox"/> 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	作業効率の向上に努め可能な限りワークシェアリングを実践し、36協定を順守し時間外勤務の削減に努め、有給休暇の取得促進を進めている。										8.5 8.8										
	4	<input type="checkbox"/> 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在外国人の雇用者は在籍していません。				4.4						8.7 8.8		10.2 10.3								
	5	<input type="checkbox"/> 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全で衛生的な労働環境を維持する為、毎月5S及び安全パトロールの実施を行っている。										8										
	6	<input type="checkbox"/> 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	定期的な個人面談を実施し、労働環境における不安を取り除いている。健康診断の実施及び産業医によるびストレス診断の実施も行っている。																				
	7	<input type="checkbox"/> 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	従業員個々が積極的に改善提案する機会を設け、多様な人材が公平に評価される環境を提供している。					5.1 5.5					8.5		10.2 10.3								
	8	<input type="checkbox"/> 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	従業員個々の能力向上の為、本人希望又は業務上必要に応じて講習会への参加、通信教育制度を活用している。更にその知識を活かして資格取得を行っている。				4	5.5					8	9									
	9	<input type="checkbox"/> 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	許容範囲内にて体勢の整備・対応を行っている。且つ、積極的に成果、能力及び経験を踏まえ正社員への登用を行っている。					5.5					8.5		10.2 10.3								
	10	<input type="checkbox"/> 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	従業員個々の多能工化を図り、過度な労働時間の削減に努め、健康的な生産性向上に取り組んでいる。											8									
環境	11	<input type="checkbox"/> 【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物の排出量を把握し、適宜行政へ報告している。												11.6	12.4		14.1					
	12	<input type="checkbox"/> 【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	毎月エネルギー使用量を集計・記録し、Co2の排出量を把握している。									7.3					13						
	13	<input type="checkbox"/> 【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	毎年自社の事業活動における環境への影響評価を行い、排出の抑制に努めている。									7.2 7.3				12.4	13.3						
	14	<input type="checkbox"/> 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	環境ISOに基づき、有害物質の抽出及び使用量を把握している。且つ、SDSに基づき適切な使用を行っている。				3.9			6.3					11.6	12.4							
	15	<input type="checkbox"/> 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境方針を策定し環境に配慮した活動を実践している。							6.6										15			
	16	<input type="checkbox"/> 【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	梱包資源を計画的に削減することで、ごみの量を最小限にすること。さらに、専用業者のごみの分別引き取りにて3Rに取り組んでいる。														12.5	14.1					

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001:2015取得(2009年)			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	HP等にて開示している。												12.6							
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	太陽光パネルの有効性が確認できたい検討する予定です。							7.2						13						
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	環境方針を策定し環境に配慮した活動を実践している。												12.2	13	14	15				
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に明記し新入社員教育時に教育指導を行っている。																		16	16.5
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に明記し新入社員教育時に教育指導を行っている。																			16
24	公正な事業慣行	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	ISOに基づき自社及び顧客の知的財産の管理を行っている。								8.2		9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報は担当部署を設置し適切に管理している。								8.3										16
26		□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	全ての仕入先に紛争鉱物を使用していないことを確認している。																		16
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	ISOに基づき適宜、仕入先と認識を共有している。					5			8			10	12	13	14	15	16	17	
28		□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	ISO9001:2015取得(2005年) ISO14001:2015取得(2009年)にて仕組みを構築している。			3.9									12.4						
29	製品・サービス	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	品質体系図を策定し対応している。 ISO9001:2015取得(2005年)									9									
30		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境方針を策定し環境に配慮した活動を実践している。						6					12	13	14	15				
31		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	音声機器を通して、高齢者・障害者を含め、すべての人々が快適に生活できるように製品開発を続けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
32	□	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	環境方針に沿って地域とのコミュニケーションを図っている。				4					9		11	12		14	15		17	
33	□	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	社外環境美化活動の実施を行っている。 (自社に面する市道の美化活動:清掃)				4							11			14	15		17	
34	□	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	対象品なし									8	9		11	12	13				
35	□	【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	基本理念と環境方針及び目標を明文化し、従業員に周知及び掲示にて社内で共有している。									8	9								17
36	□	【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	ISOにて法令順守の仕組みを構築している。																		16
37	□	【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	担当部署を設け、その役割を行っている。																		16
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	ISOに基づき、取引先の影響の度合いを把握し対応に当たっている。																	16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	ISOのシステムに沿って取り組んでいる。																		16
40	□	【社会的責任】 ・ CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	ISOに基づき内部及び外部の課題を抽出し、自社目標に反映している。																		16
41	□	【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	自社BCPを策定し、活動中。又、緊急事態に備え訓練の実施をしている。										9		11		13 13.1			16	
42	□	【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	継続的な人材採用、教育、育成を行っている。									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・ 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・ 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・ 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)